

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	外国籍市民支援事業	事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	01070118
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る	
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援	
				細施策	01	生活応援体制の確立	
				事務事業	01	相談事業	
	予算事業名			会計コード	001	款 02 項 01 目 09 事業 04	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県多文化共生推進指針が策定され、県内の多文化共生推進の具体的な道標が示された。茅野市では、市民プランの政策に国際化が示されているが、この分野での指針等の要否を検討する必要がある。 ・外国籍市民の方が、言葉や文化の違いから生じる生活上の様々な課題に対して、茅野市で安心して生活するために相談窓口を設けたり、タイムリーに必要な情報に関する講座や日本語教室を開催する。 					
	現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> ・これから、ますます多文化共生は推進しなければならないが、相談員という立場では一緒に検討するのは難しい。 ・外国籍の方の転入者は減ってはきているが、生活に密着した情報は地域で生きていくために不可欠。生活をしている中でどんな事に不安を感じているのか、どこから情報を得ているのか把握はできていない。 					
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民・外国籍市民				
		対象 （直接働きかける）	外国籍市民				
		意図	外国籍市民の方が、言葉や文化の違いから生じる生活上の様々な困難を取り除いてあげ、茅野市で安心して生活できることにより、市民及び外国籍市民の双方が安心して暮らせる。				
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生推進員を委嘱し、茅野市の多文化共生推進に携わってもらう。 ・タイムリーな情報や、生活上で不安になっていることをあげ、講座内容に入れる。 ・外国籍市民の方と多く関わっている外国籍市民サポートグループ ねこじやらし茅野と連携し、講座の計画を立てる。 					
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		活動指標	日本語教室	開催数	回		24
			生活情報講座開催	開催数	回		1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
			日本語教室	受講者数	人		300
			生活情報講座参加数	参加数	人		30

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	23,000	418,016	269,726
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	23,000	418,016	269,726	694,630	1,214,000
職 員 数	正規職員	人	0.10	0.15	0.10	0.11	0.11
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人	0.01	0.01	0.01		
	合計	人	0.11	0.16	0.11	0.11	0.11
対 象 （ 者 ） 数	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	0.00	7.00	5.00	13.00	37.00
活 動 指 標	開催数	目標	回	24	24	24	24
		実績	回	24	24	24	24
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	開催数	目標	回	1	1	1	1
		実績	回	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標	受講者数	目標	人	300	300	300	300
		実績	人	221	401	303	305
		達成率	%	73.67	133.67	101.00	101.67
	参加数	目標	人	30	30	50	30
		実績	人	21	28	40	30
		達成率	%	70.00	93.33	80.00	100.00
備 考							

事務事業名	外国籍市民支援事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	01070118	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	外国籍の方の相談窓口が一本化し、相談員としてだけでなく、多文化共生を幅広くすすめるため、多文化共生推進員を委嘱する。	多文化共生推進員の委嘱を行った。毎月外国籍市民相談日を利用して、事務局と打ち合わせを実施することにした。対応充実のために入国管理局研修を実施。	多文化共生事業のイベントなどでも、外国籍市民の参加が少ない。困っていないわけではないので、需要を知りより費用対効果のある事業にしていける必要がある。日本人に多文化共生を周知していきたい。
第2期	打合せを充実し、計画的な事業を行う。第5次総合計画の策定に合わせ、外国人の需要を知る方法を考える。	現在の多文化共生事業が、外国籍市民にとって必要な事業であるのか、アンケートを行うことを決定した。	アンケートの詳細(内容、対象、方法など)を検討する。
第3期	外国籍市民アンケートについて検討。生活情報講座の実施。	郵送調査では回答率が低いことが見込まれるため、聞き取り調査を行う事を決定。ねこじゃらし茅野さんの協力を得る。生活情報講座では、身近な防災について行った。	来年度実施に向けて、さらに詳細を検討。生活情報講座への参加者が少ない。
第4期	外国籍市民アンケートについて検討。	アンケート内容を決定した。対象についても18歳以上とした。	聞き取りアンケート時の事故対応や、職員体制など、実施に関する事務を詰める必要がある。

事 中 評 価						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	レ
例年行っていた多文化共生事業は、相談者の減少、生活情報講座の参加者の減少など、本当に必要としている事業であるのか、現状把握が必要である。費用対効果の面から、必要とする事業へ切り替えていかなければならないと考える。		現 状 維 持	③	⑥	⑨	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		縮 小	④	⑧	⑩	
		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	外国籍市民の方が参加してみたいという気持ちにさせるのには時間をかけての計画が必要															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	01070210															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	茅野市で、しっかりと永住し、家庭がある方たちにとって、外国籍市民の生活応援には必要な事業である。						茅野市で、しっかりと永住し、家庭がある方たちにとって、外国籍市民の生活応援には必要な事業である。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			
		現 状 維 持	③	⑥	レ ⑨		現 状 維 持		レ		
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小				
		休 廃 止	①				休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	外国籍市民の方が参加してみたいという、内容を計画し、チラシも工夫する。					外国籍市民の方が参加してみたいという、内容を計画し、チラシも工夫する。平成29年度は外国籍市民の方に対しアンケート調査をし、結果を踏まえて(仮称)多文化共生推進計画の策定に向け着手する。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健診・検診・健康相談事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020102
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	02	保健・医療・福祉応援体制の確立
				事務事業	02	健診・検診・健康相談事業
	予算事業名				会計コード	001 款 - 項 - 目 - 事業 -
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外国籍市民の健診等・育児に関する相談等を実施。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍市民が多数おり、国も多様化している。乳幼児健診や予防接種の現場における対応は実情に応じて実施しているが、文化・言語に対する体制が整備されていない。				
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	外国籍市民			
		対象 （ 直 接 働 き か け る ）	同上			
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	外国籍市民が母国語等で安心して相談できる体制を整備する。				
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	健康管理センター、各サービスセンター、こども課での総合相談及び市民課での外国籍市民相談で随時相談等を受けている。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		相談機会の確保	相談機会の確保			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		相談機会の確保	相談機会の確保			

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円					
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人				
	嘱託職員	人				
	臨時職員	人				
	合計	人				
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	相談機会の確保	目標	-			
		実績	-			
	達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-			
		実績	-			
	達成率	%	-	-	-	-
成果指標	相談機会の確保	目標	-			
		実績	-			
	達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-			
実績		-				
達成率	%	-	-	-	-	
備考	多部署で対応していること、また、外国籍市民に対する相談のみを割り出すことが困難なため、事業費については記載しないこととした。					

事務事業名	健診・検診・健康相談事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020102
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。	家族や友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談
第2期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。	家族や友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談
第3期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。	家族や友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談
第4期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。	家族や友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	多数の外国籍市民が生活していることから、その方々が抱えている健康に関する課題を踏まえた相談体制を整える。															
課題	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
課題	前年度総合評価判定 A															
課題	前年度評価シート整理番号 03020102															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合相談の中で随時相談を受けている。	関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合相談の中で随時相談を受けている。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来られる体制を維持する。								
改革・改善策	前年度細施策評価における今後の方向性									

最終評価年月日	平成29年5月9日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	-----------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	検診等多言語案内書作成事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020101
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る 施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援 細施策 02 保健・医療・福祉応援体制の確立 事務事業 03 健診・検診等案内書作成事業		
	予算事業名	一般事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 03		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	乳幼児健診・予防接種・成人の検診に関する多言語案内を策定する。				
	現状と背景 （どうして）	現在健康カレンダーによる各種検診などの申し込みを行っているが、外国籍市民に理解されないため。				
目的	対象	受益者 （誰のために）	外国籍市民			
	対象	対象 （直接働きかける）	同上			
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	意図	乳幼児健診や予防接種、成人の検診に関する案内及び冊子を多言語に翻訳し、外国籍市民が健診等を受けられるようにする。				
	手段・方法 （どうやって）	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、韓国語の乳幼児健診及び予防接種の日程表、乳幼児健診・予防接種手帳、成人の検診案内を作成し、市民課、こども課、保健課、健康管理センター、各SC、0123広場の窓口に置く。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	言語数	か国語	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、韓国語	5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	案内作成言語数達成率	%	作成言語数÷最終目標数	100

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	140,000	150,000			150,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	140,000	150,000			150,000
職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	2.00	3.00	-	-	3.00
活動指標	言語数	目標	か国語	5	5	5
		実績	5	5	5	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	
成果指標	案内作成言語数達成率	目標	%	100	100	100
		実績	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	
備考						

事務事業名	検診等多国語案内書作成事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020101
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第2期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第3期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第4期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	在庫の状況を確認したところ、既存の原稿で対応ができることが判明した。	新年度に向けて、内容が変更となる案内をできるだけ抽出すること。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 新たな翻訳が必要な案内があるか確認をする。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 内容が変更となる事業などについては、多国籍市民の増加を踏まえて丁寧に対応すること。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック				レ	3					4					4	B
課題	外国籍市民の各国の登録者数に変動があり、その状況に応じて対応する必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020101															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	新たな翻訳の必要がなく、在庫で対応できた。						多国籍市民の各国の外国人数に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦		成果の方向性			
拡充		③	⑥	⑨		現状維持			レ	
現状維持		④	⑧	⑩		縮小				
縮小		①				休廃止				
休廃止	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	登録者数に応じて対応していきたい。					外国人の住民登録者数に応じて対応していきたい。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課	柳澤澄子
---------	------------	---------	----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	06020211
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ
				連絡先	622

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	03	子育て・教育応援体制の確立
				事務事業	05	保育園・小・中学校における多文化共生教育推進事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 02 目 02 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市に在住する外国籍市民は微減傾向にありますが、諸外国との人的交流はますます活発化しており、職場、学校、地域社会など日常生活のさまざまな場面で外国籍市民と密接なかかわりを持つ時代を迎えています。保育園においても外国にルーツを持つ児童の入園があり、園生活、習慣、言葉、食事等で適応しづらい事例が報告されることがあります。このため、園児や保護者に対して多文化共生教育や情報提供を行い、より豊かな生活が送れるよう取り組みます。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍の子どもの入園が増えていることから、外国籍市民の子どもが入園したときにコミュニケーションが十分取れず、トラブルになることがある。また、母国語だけでなく、様々な言語に触れ合う経験や、様々な文化に触れる経験を乳幼児期においても、環境づくりを行う必要があるため。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	園児、保護者		
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	園児や保護者が、多様な背景を持つ人々と共に暮らしていることを認識し、暮らしをより豊かにするために、お互いの違いを認め合い、互いに理解を深めあいながら協力できる多文化共生社会の実現を図ります。			
	手段・方法 （どうやって）	外国籍の園児に対しては、言葉が理解できないことによる発達への影響を考慮し、日本の生活習慣に慣れるよう支援を行います。また、ゆっくりとした日本語を使うことにより理解しやすくなるよう配慮します。日本人の園児に対しては、その子ども達のルーツの国の手遊びや歌、絵本などを紹介する機会を保育の中に取り入れ、相手の文化を尊重する機会を提供します。外国籍の保護者に対しては、生活習慣の違いから起こる課題に対して丁寧で分かりやすい対応に努めます。また外国籍園児が在籍する園の日本人保護者に対しては、異文化の紹介等を計画的に行い理解促進に努めます。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国文化関連の体操、歌、リズム遊び、読み聞かせの実施	実施率	%	実施回数/保育園数×4回	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国籍園児保護者の安心度	安心度	%	100-（トラブル件数/外国籍保護者数）	100

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数	正規職員	人		0.01	0.01	0.01	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人		0.01	0.01	0.01	
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
D O （ ）	活動指標	実施率	目標	100	100	100	100
			実績	60	200	121	100
	達成率	%	60.00	200.00	120.80	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	安心度	目標	100	100	100	100
			実績	98	100	100	100
達成率	%	98.00	100.00	100.00	100.00		
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	06020211
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ	連絡先
						622

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・園長会で事業を周知 ・外国籍の新入園児とその保護者に対する配慮	・園長会で取組みについて協議 ・各園外国籍園児の状況把握	・具体的な活動内容の検討と実施 ・外国籍保護者へ1日保育士体験の参加の促し
第2期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る ・外国籍保護者の1日保育士体験の参加	・ロングモント市交換留学生との交流 ・体操や歌の中で外国語を楽しむ	・ロングモント市の学生との交流内容について、他園でも活かせることを検討
第3期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る ・外国籍保護者の1日保育士体験の参加	・体操や歌の中で外国語を親しむ ・ハロウィンかぼちゃの展示 ・クリスマス会の実施	・遊びの中で親しめるように、環境を整える。
第4期	・日々の保育の中における活動実施 ・外国籍の園児・保護者が楽しく園生活を送る	・体操や歌の中で外国語を親しむ	・遊びの中で親しめるように、環境を整える。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 英語の歌や体操等を取り入れることについて、多文化共生教育推進事業として意識づけが必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 園長会で周知し、多文化に触れる保育内容を継続して実践する。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生教育を意識をして保育内容の中に工夫して取り入れているが、職員会等で時折、共通認識をしていくことで多文化に触れることにつながっていく。 ・外国籍の入所がある中でパンフレットの活用や保護者を巻き込んだ交流をしながら異文化に親しみ日本の文化や生活習慣に慣れるようにする。 ・外国籍の保護者の1日保育士体験参加率が向上していない。 															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	06020211															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・遊びの中に多文化共生教育を意識した活動を取り入れることが定着してきた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。 ・外国籍の園児がスムーズに園生活を送ることができるようにするための支援を継続して行っていく。	・遊びの中に多文化共生教育を意識した活動を取り入れることが定着してきた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。 ・外国籍の園児がスムーズに園生活を送ることができるようにするための支援を継続して行っていく。								
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持		レ		
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改 革 ・ 改 善 策	改 革 ・ 改 善 策					改 革 ・ 改 善 策				
	・多文化共生教育を意識して取り組み、日常の保育や生活・遊びに取り入れた保育環境を作ることで、生活や心をより豊かにしていくことが期待できる。 ・保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れることをするために、外国籍の保護者に対し、積極的に声掛けをし、1日保育士体験の参加や、お互いの文化を認め合える場を提供する。	・多文化共生教育を意識して取り組み、日常の保育や生活・遊びに取り入れた保育環境を作ることで、生活や心をより豊かにしていくことが期待できる。 ・保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れることをするために、外国籍の保護者に対し、積極的に声掛けをし、1日保育士体験の参加や、お互いの文化を認め合える場を提供する。								

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	幼児教育課長	五味留美子
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070117
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る 施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援 細施策 05 地域情報発信体制の確立 事務事業 02 多言語生活情報誌の発行事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 02 項 01 目 05 事業 10		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			外国籍市民が茅野市民としてこころ豊かな日常生活を送れるよう生活応援事業として、生活上必要な情報を提供するために生活情報誌を作成する。		
	現状と背景 （どうして）			外国籍市民への情報発信体制が整っていないため、市からの情報が外国籍市民へ届いていない。不安なく生活するために、わかりやすい生活情報誌が必要である。		
目的	対象	受益者 （誰のために）	外国籍市民			
	対象	対象 （直接働きかける）	同上			
手段・方法 （どうやって）	意図 （どんな状態にしたいか）		外国籍市民が職場、学校、地域の中不安なく暮らしやすい生活ができ、生活範囲も広がる。			
			生活に必要な情報、保健、福祉、教育、税金、市内施設等の説明をした生活情報誌を印刷し、市民課窓口、家庭教育センター、市内大型店（西友）、諏訪中央病院に置いている。また、市民課窓口で転入した外国籍市民世帯に配布する他保育園等からの要望に応じて提供する。この他外国籍市民が集まる場所（食材店・教会等）にねこじやしちの岡元氏を通じて置いている。 平成26年度までは母国語（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語）のみだったが、平成27年度にやさしい日本語版の情報誌を作成し、日本語にも慣れていただくようにする。			
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		5ヶ国語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（5カ国語）	冊		750
	やさしい日本語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（日本語）	冊		150	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
生活情報誌配布数		配布数	冊	（日本語+5か国語）×150部	900	

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	275,207	16,770	82,000	73,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	275,207	16,770	82,000	73,000	80,000	
	正規職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人		0.03				
対 象 （ ） 数	合計	人	0.05	0.08	0.05	0.05	0.05	
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
活 動 指 標	情報誌発行数（5カ国語）	目標	冊	800	800	750	750	750
		実績	冊	800	800	700	700	700
		達成率	%	100.00	100.00	93.33	93.33	93.33
	情報誌発行数（日本語）	目標	冊			150	150	150
		実績	冊			100	100	100
		達成率	%	-	-	66.67	66.67	66.67
	-	目標	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成 果 指 標	配布数	目標	冊	900	900	900	900
			実績	冊	550	650	650	650
達成率		%	61.11	72.22	72.22	72.22		
-		目標	-					
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070117
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先
						145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	現在のガイドブックの見直しを行う。有効な配置場所を検討する。	担当課や内線番号、内容の見直しを行った。	活用する方が出入りする場所に置きたいが、それはどこなのか、あるいは要らない所はどこか検討。
第2期	ガイドブックの印刷、配置。相談窓口で紹介するなど、広報活動を行う。	病院を中心にガイドブックを持っていく方が多かった。	活用する方が出入りする場所に置きたいが、それはどこなのか、あるいは要らない所はどこか検討。
第3期	ガイドブックの印刷、配置。相談窓口で紹介するなど、広報活動を行う。	病院を中心にガイドブックを持っていく方が多かった。	庁内の配置、部署の名称、所管などが大幅に改正されるため、来年度に向けて更に見直しが必要。
第4期	ガイドブック以外に翻訳が必要な文書があるか、庁内に調査を行う。	翻訳が必要な文書があるか、調査を行った(税務課、学校教育課から提出)。予算の範囲内で翻訳依頼。	庁内の配置、部署の名称、所管などが大幅に改正されるため、来年度に向けて更に見直しが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 生活ガイドブックが必要な方たちが集まる場所がどこなのか、現状を知る必要がある。ただ待っているだけでなく、この事業が本当に必要なものかどうか、対象である外国籍市民に聞く必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	この生活情報誌は、市民課の外国人登録窓口や、各地区の保健福祉サービスセンターや、地区コミュニティセンターなどに備え付けてある、在庫が減ってきている。市民課でも転入者に渡してもらっている。また各課における業務内容をこのガイドブックを見て、詳しい説明を要求してくるが、本来はこの生活情報誌は、全般的に大まかな内容のもので、各課の専門的な詳しい内容はそれぞれの課が必要に応じて対応することになる。「やさしい日本語」作成を進める。															
CHICK	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					前年度総合評価判定					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定					
CHICK	日本とは習慣、伝統の違う外国人居住者が生活しやすくするために、必要な生活情報が1冊にまとまったガイドブックは生活の助けになり有効である。母国語での表記は、理解しやすく、市役所業務においても、トラブルを防ぐことができる。					日本とは習慣、伝統の違う外国人居住者が生活しやすくするために、必要な生活情報が1冊にまとまったガイドブックは生活の助けになり有効である。母国語での表記は、理解しやすく、市役所業務においても、トラブルを防ぐことができる。					前年度総合評価判定				
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性					前年度評価シート整理番号 01070240				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
CHICK	成 果 の 方 向 性 拡 充				②	⑤	レ	⑦			
CHICK	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持				③	⑥		⑨			レ
CHICK	成 果 の 方 向 性 縮 小				④	⑧		⑩			
CHICK	成 果 の 方 向 性 休 廃 止	①									
CHICK	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改 革 ・ 改 善 策	改 革 ・ 改 善 策				
	1	2	3	4	判 定
CHICK	<ul style="list-style-type: none"> 各課の専門的な詳しい内容は、各課で対応することになるので、対応方法を検討しておく必要がある。 平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。 母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。 				
CHICK	<ul style="list-style-type: none"> 各課の専門的な詳しい内容は、各課で対応することになるので、対応方法を検討しておく必要がある。 平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。 母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。 利用者へのアンケート調査等により、改善を図る必要がある。 				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------